

# 敬和創

令和8年度 学校だより



上田市立第六中学校

2026/5/29(金)

## 第2号

担当: 西村 良幸(教頭)

生徒の活動や学校の様子を発信していきます。学校ホームページでも随時情報を発信していきますので、アクセスしてみてください。**check** →

### 5月8日(金) 第1回生徒総会



全校から活発に質問や意見が出され、とても充実した時間になりました。



### 5月12日(金) 春の交通安全教室



交通反則通告制度(青切符)に関してもご指導をいただきました。

### R8生徒会スローガン

# パズル

~一人一人の個性を組み合わせて作り出す六中~

### 5月11日(金) 移動鑑賞音楽教室



和-jin の皆さんによる大迫力の演奏

# 校長講話

## 「共に生きる」

5月27日(水)



今年度が始まって約2ヶ月、登校日にすると今日で34日目。

1・2年生のみなさんは、新しい仲間と出会い、34日間一緒に生活してきたわけですが、少しは仲間のことがわかってきたでしょうか。3年生も含めて、クラスの中には、色々な仲間が同じ教室の中にいますよね。歌が上手な人がいれば、人の前で歌うことが恥ずかしい人もいる。人前でしゃべるのが得意な人もいれば、上手くしゃべれない人もいます。本当に人それぞれです。今日は、今年初めての校長講話ということで、色々な仲間と「共に生きる」とはどういうことなのか、私が考えていることを伝えたいと思います。

「ある少年野球チームの奇跡」という話を紹介します。

ある野球チームの監督さんは、ある日、週末になると熱心に練習や試合をお母さんと一緒に見に来ていた一人の少年にふと気づきました。さらに、少年は、どうやら足が悪くてうまく歩けないようだというにも気づきました。それでも、毎週のように見に来ていたんです。

ある時、監督は、練習を見終わって帰ろうとしている少年に声をかけました。「野球、好きなんだね。うちのチームと一緒にやってみないかい」と。少年は答えます。「僕は生まれつき足が悪くて、スポーツはできないんです」と。監督は、こう続けます。「できるか、できないか、確かめてみたのかい?」

数日後、チームに少年の姿がありました。とは言っても、はじめはキャッチボールが精一杯です。しかも少しでもボールがそれると、捕ることができず、こぼれたボールを拾いに行かなくてはなりません。でも、少年は笑顔いっぱい、必死でボールを追いかけています。

数ヶ月が経ちました。一生懸命練習する姿にチームメイトもすっかり打ち解けました。そんな様子を見て、監督は、彼を試合に出したいという思いが大きくなっていきました。そして、その思いをチームに伝えます。チームのみんなは、快く賛成します。ところが、当の本人は「僕は試合なんて、無理です」と言うんです。そこで、監督は言いました。「本当に無理か、確かめてみたのかい」と。そして、ついに少年が試合に出る日が近づいてきました。さて、少年のポジションはどこだったと思いますか。足の悪い選手を、皆さんなら、どのポジションにしますか。

監督が考えたポジションはファーストでした。チームのみんなは、最初はとても驚いたようです。なぜなら、ファーストは、キャッチャーの次にボールをたくさん捕らなければならないポジションだからです。ボールが少しでもそれたら、後ろにそらしてしまう少年をファーストにするのは無理だと思ったのです。

そんなチームの不安を知りながら、監督は少年をファーストに置いた練習を始めました。初めはどうしてもうまくいきません。少年が捕れないボールがたくさん出てしまいます。しかし、何日か練習を続ける内に、少年が捕り損ねるボールが減ってきたのです。チームメイトは気づき始めました。エラーをしているのは少年ではなく、自分たちだということに。普通の選手なら難なく捕れるボールでも、足の悪い少年にとっては悪送球になってしまう。「もっと、彼が捕りやすいボールを投げなければいけない」と考えるようになったのです。チームの送球に対する意識が変わりました。チームの守備力がどんどんと高くなっていきました。

さて、皆さんは、この監督から、この少年から、このチームから共に生きるということについて、どんなことを考えましたか?

話は少し変わります。私が今見ているドラマの中に「GIFT」というドラマがあります。車椅子ラグビーの話ですが、毎回熱い内容で、毎回泣きながら見てます。その中の場面をいくつか紹介します。この車椅子ラグビーという種目は、様々な度合いの障がいをもつ人が一緒にプレーする種目で、簡単に言うとボールを投げるのが強い人もいれば弱い人もいます、車椅子をこぐのが早い人もいれば遅い人もいます。そういう仲間が混ざってやる種目です。

手前の金髪の男性に力の弱い女性がパスを投げたけど、届かなくて相手にボールをとられてしまい「おい！ちょっと頼むぜ！マジで」と怒っている場面。そして、その日の食事の時に「あのパスじゃ合わせようがねえや」と絡んでる場面。他にも、仲間へパスを出したいんだけど、車椅子をこぐのが遅くて、パスを出せないような場面もありました。段々、チームの雰囲気が悪くなるんですね。そこで、主役がみんなに言うんです。「仲間のボールが届かないなら、パスを出す相手は攻めるのではなくて、自分から届くところまで行こうよ!」「車椅子をこぐのが遅い人も、力がないから無理!ではなく、ひとこぎでいいから多くこいで、自分でもボールを取りに行こうよ!」「仲間を知るために、仲間と分かり合うために、何度でも、何度でもぶつかってこようよ!」はじめに紹介した野球チームの仲間も、車椅子ラグビーのチームメイトも、自分のことだけを考えているうちは、何もうまくいかないんですね。不平不満が出てくるようになる。でも、足の悪い仲間のことを考えていいところにボールを投げる、ラグビーでパスが届かない仲間のことを考えて、自分から動き始めることで、その集団が素晴らしく生まれ変わっていくんですね。みんなが生き生きしてくる。

今日は色々な仲間と「共に生きる」ということについて考えてもらえればと思い、2つの話を紹介しました。今年度に入って、今近くにいる仲間との生活が始まったばかりです。私は、共に生活をする仲間のことを理解しようとして、自分から働きかけてみることで、みなさんの学校生活が、あったかくなって、素晴らしいものになっていくと考えています。412名の六中生の学校生活がより素晴らしいものになっていくことを心から願っています。

## 6月の主な行事予定

- 2日(火) 人権教育旬間(～19日) 3年内科検診
- 3日(水) 音楽集会(朝)
- 4日(木) 1・2年歯科検診
- 5日(金) 中体連社行会 教育実習最終日
- 6日(土)・7日(日) 中体連夏季大会予選 吹奏楽演奏法講習会
- 8日(月) 計画休業
- 9日(火) 2年内科検診
- 11日(木) 3年歯科検診
- 13日(土)・14日(日) 中体連夏季大会予選
- 16日(火) 1年内科検診
- 18日(木) 耳鼻科検診
- 20日(土)・21日(日) 中体連夏季大会東信地区大会
- 22日(月) 計画休業
- 23日(火) 教科質問タイム①
- 24日(水) 教科質問タイム②
- 25日(水) 1学期期末テスト
- 26日(金) 授業参観日②(地域公開参観出前講座)
- 29日(月) 引落日

## スクールカウンセラー

神尾先生 来校予定(6月)

2日(火) 1日  
12日(金) 1日  
30日(火) 1日

相談のご予約は  
担任、養護教諭、教頭  
のいずれかにお伝えください

来月は、いよいよ運動部の中体連夏季大会が行われます。疲れによるけがや体調不良が出やすい時期であるため、睡眠や休息の時間を大切にして、体調管理にご留意ください。運動部の皆さんは、大会にベストコンディションで臨めるように願っています。保護者の皆様には、特に以下の点についてご注意をいただきますようお願いいたします。

- ・屋内競技におけるフラッシュ写真撮影は絶対に行わないようにしてください。
- ・撮影した写真や動画をSNS等にアップすることはしないようにお願いします。
- ・会場付近の路上駐車はしないようにしてください。